

【速報】8月 テレビCMランキング発表 個人全体、女性の1位に石原さとみさん、永野芽郁さん出演 花王のCMがランクイン

テレビに人体認識技術を搭載した機器を設置し、ご家庭のテレビの視聴態勢「アテンションデータ」の取得・提供を行うTVISION INSIGHTS株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長 郡谷 康士、以下TVISION）は、2021年8月1日から8月31日に放映されたテレビCMからTVISION独自の指標「Cスコア」でのランキングを集計いたしましたので、発表いたします。

■個人全体・コア視聴層 テレビCM CスコアランキングTOP3

テレビCM8月 Cスコアランキング TOP3

個人全体		該当CM数：578CM			
順位	企業名	CM名	初回放送日	CM尺	Cスコア
1	花王	フレアフレグランス「香りでフレフレ!」篇	2021/8/16	30	132
2	日清食品	カップヌードル「イカよけダンス」篇	2021/7/21	30	131
3	NTTドコモ	ドコモ未来ミュージアム「IMAGINE」篇	2021/8/9	15	130

※対象期間内に250GRP以上を出稿していたものを対象としています
※少数点1桁で四捨五入しています

コア視聴層(男女13-49歳)		該当CM数：578CM			
順位	企業名	CM名	初回放送日	CM尺	Cスコア
1	UQコミュニケーションズ	UQ mobile「映画撮影」篇	2021/7/30	30	139
2	松竹	鳩の撃退法「挑戦状」篇	2021/8/14	15	138
3	新生フィナンシャル	レイクALSA「番台」篇	2021/6/30	30	137

※対象期間内に250GRP以上を出稿していたものを対象としています
※少数点1桁で四捨五入しています

1位は、花王フレアフレグランス「香りでフレフレ!」篇となりました。石原さとみさん、永野芽郁さんが活動的な女性を演じているCMです。テンポの良さとお二人のさわやかな笑顔が印象的です。「応援」というテーマで、オリンピック期間にもマッチしておりました。

2位は日清食品カップヌードル「イカよけダンス」篇、3位は、NTTドコモ ドコモ未来ミュージアム「IMAGINE」篇となりました。

コア視聴層の1位は、UQコミュニケーションズ UQ mobile「映画撮影」篇となりました。多部未華子さんと、永野芽郁さんの人気の高い三姉妹シリーズで注目度が高まったと推測されます。2位は松竹 鳩の撃退法「挑戦状」篇、3位は、新生フィナンシャル レイクALSA「番台」篇となりました。

また2021年8月は、オリンピック開催によって全体のテレビ視聴時間が上昇しているため、Cスコアの数値も全体的に上昇するという特徴が見られました。

■男性・女性 テレビCM CスコアランキングTOP3

テレビCM8月 Cスコアランキング TOP3

男性						該当CM数：578CM
順位	企業名	CM名	初回放送日	CM尺	Cスコア	
1	NTTドコモ	ドコモ未来ミュージアム「IMAGINE」篇	2021/8/9	15	137	
2	KDDI	au PAY カード「意識高すぎ! 高杉くん クイズ大会」篇	2021/8/16	30	131	
3	新生フィナンシャル	레이크ALSA「番台」篇	2021/6/30	30	130	

※対象期間内に250GRP以上を出稿していたものを対象としています

※少数点1桁で四捨五入しています

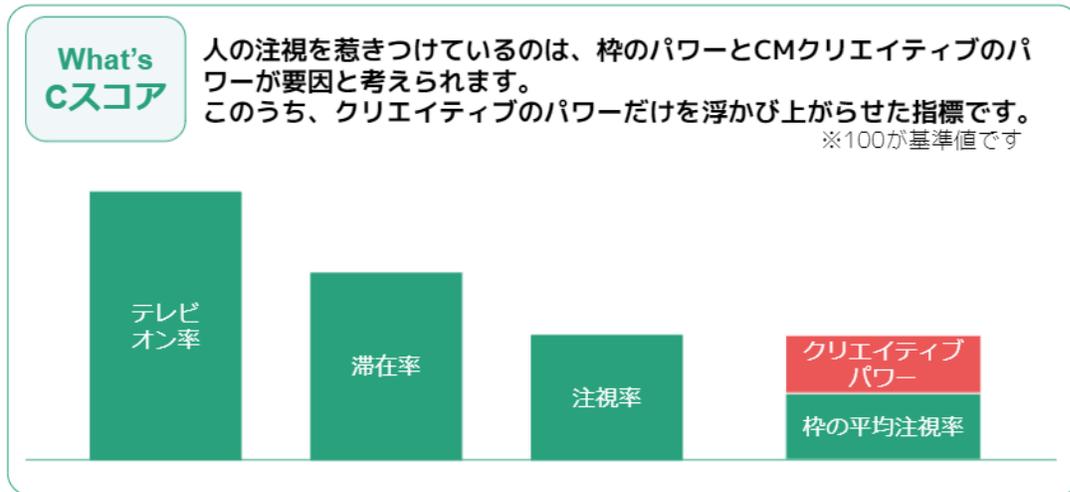
女性						該当CM数：578CM
順位	企業名	CM名	初回放送日	CM尺	Cスコア	
1	花王	フレアフレグランス「香りでフレフレ!」篇	2021/8/16	30	138	
2	SUBARU	SUBARU レヴォーグ「セカイはここまで気持ちよくなる」篇	2021/5/16	30	136	
3	UQコミュニケーションズ	UQ mobile「映画撮影」篇	2021/7/30	30	135	

※対象期間内に250GRP以上を出稿していたものを対象としています

※少数点1桁で四捨五入しています

男性の1位は、NTTドコモ ドコモ未来ミュージアム「IMAGINE」篇、女性の1位は個人全体と同様に、花王フレアフレグランス「香りでフレフレ!」篇となりました。女性の2位にSUBARU レヴォーグ「セカイはここまで気持ちよくなる」篇がランクインしました。乗用車のCMには珍しく、女性視点、ナレーションでCMが展開され、背景に流れるMISIAさんの印象的な楽曲が耳に残り、注目を集めたと推測されます。その他は、個人全体、コア視聴層にランクインしたCMがTOP3に入る形となりました。

■Cスコア（クリエイティブ・スコア）とは？



※Cスコアは平均値が100です。例えば、Cスコアが150のクリエイティブAと100のクリエイティブBがあったとき、放送された時間枠の影響を除くと、クリエイティブAはクリエイティブBの1.5倍注視されたと評価できます。

<本件に関する問い合わせ先>

TVISION INSIGHTS株式会社 広報担当 佐野、峯島
東京都千代田区大手町1丁目6番1号大手町ビル6階
E-mail info@tvisioninsights.com
Tel (担当直通) 050-5472-8861

【TVISION INSIGHTS株式会社について】

TVISION INSIGHTS株式会社は人体認識技術によってテレビ番組・CMの視聴態勢データを取得し、BtoB向け視聴分析サービスを提供しています。

ご家庭のテレビに、TVISIONが独自に開発した人体認識技術を搭載した調査機器を設置し、調査参加者の視聴態勢を毎秒で自動的に取得。「誰がテレビの前において、ちゃんと見ているか」というTVISION独自のアテンションデータを広告主・広告会社・放送局など国内累計100社以上のクライアントにご活用いただいています。現在、国内では関東エリアの1,000世帯・関西エリア100世帯、地上波/MX/BSの全番組を計測しています。TVISIONでは「新しいデータによってメディアマーケットを圧倒的に進化させる」というミッションのもと、テレビの価値をアテンションデータによって顕在化しています。